

# ごみの処理に掛かる費用をお知らせします

ごみの収集・処分・資源化には多くの費用が掛かります。また、焼却施設や最終処分場(埋め立て場)の利用にも限りがあります。ごみを減らし、資源を有効に利用することでコストが抑えられ、環境への負荷を少なくすることができます。私たちにできることを考えてみませんか。

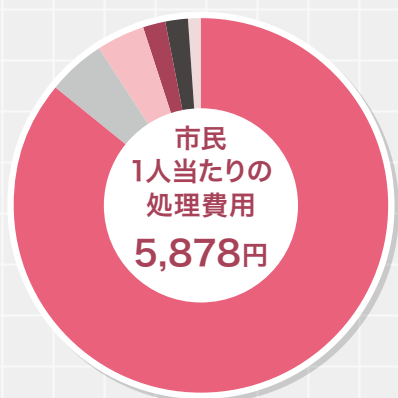
申し込み・問い合わせ先／市役所環境課ごみ減量係 TEL.76-8135

## ごみの処理費用

平成27年度のごみ処理に掛かった費用は約4億8,650万円※で、市民1人当たり5,878円です。中でも、燃えるごみの処理費用は1人当たり約5,014円で全体の約85%を占めています。

※粗大ごみ処理手数料、資源ごみ売却料などを差し引いた費用

ごみの種類	排出量(トン)	処理費用(千円)	1トン当たりの処理費用(円)	市民1人当たりの処理費用(円/人)
燃えるごみ	19,495	414,923	21,284	5,014
プラスチック製容器包装 (資)	508	25,692	50,575	310
空きかん・空きびん (資)	695	19,049	27,409	230
燃えないごみ	524	10,815	20,640	131
古紙・古着 (資)	4,619	9,667	2,093	117
粗大ごみ	331	3,485	10,527	42
ペットボトル (資)	163	2,411	14,794	29
乾電池、小型家電など (資)	59	420	7,111	5
計	26,394	486,462	-	5,878



▼(資)は資源ごみ

▼表示単位未満を四捨五入しているため、計算結果と一致しない場合あり

- 燃えるごみ 5,014円(85%)
- プラスチック製容器包装 310円(5%)
- 空きかん・空きびん 230円(4%)
- 燃えないごみ 131円(2%)
- 古紙・古着 117円(2%)
- その他(粗大ごみ、ペットボトル、乾電池、小型家電など) 76円(1%)

## 燃えるごみを減らすには?

- 生ごみ** ▼食材の買い過ぎ、料理の作り過ぎ、食べ残しをなくす▼しっかりと水切りする▼堆肥化し、庭やプランターなどで活用する
- 雑がみ** 菓子やティッシュの紙箱などを紙袋やダンボールに入れ、古紙として出す

## 生ごみ堆肥化講習会 参加者募集

と き	2月18日(土)午前10時~正午
と ころ	コミュニティセンター宮浦会館
内 容	発泡スチロール箱で生ごみを堆肥にする方法を学ぶ
対 象 者	市内在住・在勤のかた
定 員	先着20人
費 用	無料
講 師	循環型生活研究会会員
申し込み方法	2月1日(水)から電話で(土・日曜日を除く午前8時30分~午後5時15分)

## 粗大ごみ処理手数料の使い道

市では、粗大ごみ1点当たり800円を負担していただいています。この収入は、粗大ごみの収集・運搬に必要な経費、あさひ訪問収集運用費の一部に充てています。今後も、ごみの減量・循環型社会形成にご協力をお願いします。

### 粗大ごみ排出量手数料収入(平成27年度)

粗大ごみ排出量	手数料収入
331トン	6,432千円

### 粗大ごみ処理手数料の使途(平成27年度)

内 訳	金額(千円)
粗大ごみ収集業務、あさひ訪問収集運用費の一部	3,439
粗大ごみ収集予約受付委託業務料	1,422
冊子「ごみの出し方」および粗大ごみ処理券の作成費	805
粗大ごみ処理券取扱店舗への販売委託手数料	620
電信電話料	146
計	6,432